



西股裕司 議員

Q 町民からの声を聞く方法は

A さまざまな機会を通じて
制度周知を行います

西股議員

町民と行政の距離を近づける意味においても、行政懇談会を実施していくことは良かったと思うが、今回の行政懇談会等を含め、町民からの声を聞く手法について伺う。

①町長として、行政懇談会を実施して感じたことをお聞かせいただきたい。

町長

町民の皆さまとの対話の機会として、行政懇談会の開催を模索していました。新型コロナウイルスの感染状況から緊急事態宣言が明けての開催となり、10力所全体で113名の参加をいただき、多くの貴重なご意見をいただきました。

①今後の町政を進めるにあたり意義のあるものであったと考えています。

西股議員

②広報、チラシ等を通じて開催を知らせていたが、町民の参加は少なかつたのではと思う。この点についてどのように受け止めているか。

町長

②全世界帯への周知を行い、新型コロナウイルスの感染対策を講じた中で開催しま



稲穂・11区・12区の行政懇談会

したが、若い世代の参加が少なかつたことと、感染を心配されて参加を控えた方もいたのではないかと感じています。

西股議員

③今後も情報を伝えていく上で、町民からの意見等を聞き、継続的・定期的に行政懇談会を開催していく必要があると思うが、どのように考えているのか。

町長

③基本的には全行政区・町内会を対象とすることが前提であると考えていることから、行政区長・町内会長からご意見をいただき判断してまいります。

西股議員

④行政懇談会に限らず、町民からの声を聞く方法は考

町長

④町長談話室や故郷ふれあいミーティング、まちづく



西町町内会の行政懇談会

り職員出前講座、地域担当職員制度、町民意見箱を活用いただけるよう、町広報誌などを通じて、利用啓発や制度周知を行い、より多くの町民からの声を聞いてまいります。

西股議員

⑤町として町民が、意見の言える雰囲気と円滑なコミュニケーションが取れることは重要と思う。行政懇談会を含み満足度を調査してはいかがか。

町長

⑤町民にとってよかつたのかという効果の検証も含めて今後、実施してまいります。